

## 5. 参考文献

ヒートアイランド対策関係府省連絡会議, 2004: ヒートアイランド対策大綱

[http://www.env.go.jp/air/life/heat\\_island/taikou.pdf](http://www.env.go.jp/air/life/heat_island/taikou.pdf)

環境省, 2004: ヒートアイランド現象による環境影響に関する調査検討業務報告書

<http://www.env.go.jp/air/report/h16-04/index.html>

環境省, 2005: 平成 17 年度都市緑地を活用した地域の熱環境改善構想の検討調査報告書

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=7159>

気象庁, 2005: 気象観測統計指針

<http://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/kaisetui/index.html>

気象庁, 2005a: ヒートアイランド監視報告 (平成 16 年夏季・関東地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2004/himr2004.pdf>

気象庁, 2006: ヒートアイランド監視報告 (平成 17 年夏季・関東地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2005/himr2005.pdf>

気象庁, 2007: ヒートアイランド監視報告 (平成 18 年夏季 - 関東・近畿地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2006/himr2006.pdf>

気象庁, 2008: ヒートアイランド監視報告 (平成 19 年冬・夏 - 関東・近畿地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2008/himr2008.pdf>

気象庁, 2009: ヒートアイランド監視報告 (平成 20 年 - 東海地方)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2009/himr2009.pdf>

気象庁, 2010: ヒートアイランド監視報告 (平成 21 年)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2010/himr2010.pdf>

気象庁, 2011: ヒートアイランド監視報告 (平成 22 年)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2011/himr2011.pdf>

気象庁, 2012: ヒートアイランド監視報告 (平成 23 年)

<http://www.data.kishou.go.jp/climate/cpdinfo/himr/2012/himr2012.pdf>

気象庁, 2013: 地球温暖化予測情報第 8 巻

気象庁, 2012a: 気候変動監視レポート (2011)

気象庁, 2003: 数値予報課報告・別冊第 49 号 気象庁非静力学モデル

気象庁, 2008a: 数値予報課報告・別冊第 54 号 気象庁非静力学モデル ~ 現業利用の開始とその後の発展 ~

藤部文昭, 2012: 観測データから見た日本の都市気候, 気象研究ノート, 第 224 号, p.1-23.

近藤純正, 2012: 日本の都市における熱汚染量の経年変化, 気象研究ノート, 第 224 号, p.25-56.

大原利眞, 森野悠, 2012: 都市と大気汚染, 気象研究ノート, 第 224 号, p.85-102.

日下博幸, 2012: 都市気象の単層モデルと領域気象モデル, 気象研究ノート, 第 224 号, p.221-231.

山田崇, 及川義教, 大野浩史, 2012: 気候監視業務における都市気象モデル, 気象研究ノート, 第 224 号, p.257-272.

青柳暁典, 清野直子, 2012: メソ数値予報モデルと都市, 気象研究ノート, 第 224 号, p.273-301.

大野浩史, 吉松和義, 小林健二, 若山郁生, 諸岡浩子, 及川義教, 平原翔二, 池田友紀子, 齋藤仁美,

- 2011: 気温の時系列データから気象官署の移転にともなう影響を補正する手法について, 測候時報, 78, 1-2.
- 萱場互起, 青柳暁典, 高橋俊二, 2010: 重回帰分析による人工排熱量の推定, 測候時報, 77, 4-6.
- 妹尾泰史, 神田学, 木内豪, 萩島理, 2004: 潜熱割合を考慮した人工排熱時空間分布の推計と局地気象に対する影響, 水工学論文集, 48, 169-174.
- 鳴海大典, 大谷文人, 近藤明, 下田吉之, 水野稔, 2002: 都市における人工廃熱が都市熱環境に及ぼす影響 - 都市熱環境評価モデルを用いたヒートアイランド現象の改善策に関する検討 その1 -, 日本建築学会計画系論文集, No.562, pp.97-104.
- 片岡彩, 金子法史, 木村光一, 藤原宏章, 2010: 2010年7月5日に東京都で発生した大雨について - JMANHMによる再現実験及び感度実験 -, 平成22年度東京管区調査研究会誌, No.43.
- 三上岳彦, 2008: 都市型集中豪雨はなぜ起こる?, 技術評論社.
- IPCC, 2007: Contribution of Working Group I to the Fourth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change 2007, Cambridge University Press  
[http://www.ipcc.ch/publications\\_and\\_data/ar4/wg1/en/contents.html](http://www.ipcc.ch/publications_and_data/ar4/wg1/en/contents.html)
- IPCC, 2012: Special Report on Managing the Risks of Extreme Events and Disasters to Advance Climate Change Adaptation, Cambridge University Press
- Aoyagi, T. and N. Seino, 2011: A Square Prism Urban Canopy Scheme for the NHM and Its Evaluation on Summer Conditions in the Tokyo Metropolitan Area, Japan, Journal of Applied Meteorology and Climatology, vol. 50, p.1476-1496.
- Fujibe, F., H. Togawa and M. Sakata, 2009: Long-term change and spatial anomaly of warm season afternoon precipitation in Tokyo. SOLA, 5, 17-20.
- T. R. Oke and C. East, 1971: The urban boundary layer in Montreal, Boundary-Layer Meteorology, Volume 1, Issue 4, pp 411-437.